

- 平成元年(一九八九) 常磐道いわき四倉―相馬間が基本計画路線に昇格。市制施行35周年記念式典を挙行。デイ・サービス事業の開始。台風13号による記録的な集中豪雨で過去最悪(18億7千万円)の大被害。中核工業団地の予約分譲開始。
- 平成2年(一九九〇) 十代目市長に今野繁氏。相馬港が無線検疫対象港に。公共下水道が一部供用開始。相馬共同火力新地発電所建設着工。松川浦大橋建設着工。
- 平成3年(一九九一) 真野ダム完成。流山市民ふれあいセンター「相馬ユーロピア」オープン。常磐道相馬―亙理間が基本計画路線に昇格。相馬タワー完成。
- 平成4年(一九九二) 相馬工業用水道営業開始。市民号が日中国交回復20周年を記念し中国へ。
- 平成5年(一九九三) 十一代市長に今野繁氏。相馬中核工業団地進出企業操業開始。相馬港・エネルギー港湾完成。相馬総合卸売市場完成。
- 平成6年(一九九四) 市制施行40周年記念式典を挙行。三笠宮杯ツール・ド・とうほく開催。
- 平成7年(一九九五) 松川浦大橋開通。相馬振興公社駅ビル「振興ビル」完成。運輸省練習帆船「日本丸」寄港。第50回国民体育大会「ふくしま国体」ソフトボール競技大会「成年男子1部・成年女子の部」、第1回松川浦大橋ふれあいマラソン大会開催。



日本丸寄港

ふくしま国体



ツール・ド・とうほく



松川浦大橋開通式

●平成8年(一九九六) 松ヶ房ダム貯水開始。相馬方部衛生組合「一里壇火葬場」完成。

名誉市民

佐藤 玄々

彫刻家 一八八八―一九六三

市内中野に生まれ、木彫を父に学ぶ。山崎朝雲に師事し朝山と号す。フランスに渡り、プールデルに師事。帰国後、芸術院会員になる。昭和21年から玄々と号す。昭和35年に天女像が完成。

草野 俊助

理学博士 一八七四―一九六二

市内坪田に生まれ、東大理学部卒業後、ドイツ、イタリア、アメリカに留学。帰国後、東大教授、同名誉教授になり、昭和21年日本学士院会員になる。

今野源八郎

経済学博士 一九〇六

市内坪田に生まれ、東大経済学部卒業後ワシントン大学院を経て中央大、東大、弘前大の各教授を歴任後、東大名誉教授になる。現在は、日本交通政策研究会会長を務めた。

相馬 恵胤

相馬家32代当主 一九一三―一九九四

学習院高等科を経て、昭和15年に東大文学部卒業後、宮内庁事務官になる。市に二の丸球場及び長友グラウンドなどを寄贈したほか、相馬野馬追祭の振興に大きく貢献している。